



2024年6月17日

日本鉄道労働組合連合会

～JR連合「東海地協」民主化に向けた取り組みを展開～

東海指令員・静岡指令員と貨物運転士・駅係員との意見交換会を開催！

J R 連 合 東 海 地 方 協 議 会 は 5 月 13 日 お よ び 5 月 15 日、昨年に引き続き、J R 東 海 ユ ニ オ ン に お いて 東 海 指 令 ・ 静 岡 指 令 の 業 務 に 従 事 す る 役 員 ・ 組 合 員 と、 貨 物 鉄 産 労 で 乗 務 や 駅 業 務 に 従 事 す る 役 員 ・ 組 合 員 と の 意 見 交 換 会 を 開 催 し た。

本意見交換会は、名古屋地区と静岡地区でそれぞれ開催し、名古屋地区では総勢 18 名、静岡地区では総勢 25 名が参加し、東海地区で駅業務に従事する東海交通事業労組組合員も参加した。なお、今回の取り組みでは、J R 総 連 「 J R 貨 物 労 組 」 に 加 入 す る 組 合 員 も 複 数 名 参 加 し た。



静岡地区の集会で挨拶する辻村委員長

J R 東 海 ユ ニ オ ン 組 合 員 と 貨 物 鉄 産 労 組 合 員 と は、日頃から東海地方協議会等とともに J R 連 合 運 動 に 取 り 組 む 仲 間 で あり、業務においても東海道線等の指令員と運転士・駅輸送担当といった形で実は非常に関係が深い。しかしながら、こうした業務上の意見交換を取り組みとして実施したことは過去になかった。そのため、それぞれが置かれる状況を改めて知ることで相互理解の促進を図り、業務改善や J R 貨 物 の “ 民 主 化 ” に も 繋 げ る こ と を 視 野 に、昨年より意見交換の取り組みを開始した。

昨年の意見交換では、J R 貨 物 と し て は な か な か 知 る こ と が で き な い 異 常 時 の 運 転 整 理 に つ い て 質 問 が 出 た ほ か、長 時 間 抑 止 の 際 の J R 貨 物 運 転 士 の 置 か れ て い る 状 況 を 直 接 J R 東 海 の 東 海 ・ 静 岡 指 令 員 に 伝 え る こ と が で き た と い う こ と か ら、業 務 に 大 き く 影 響 す る 内 容 と い う こ と で J R 貨 物 労 組 に 属 す る 組 合 員 か ら も 大 き な 関 心 が 寄 せ ら れ て い た。

J R 連 合 に し か で き な い 会 社 ・ 職 種 間 の 交 流 ・ 意 見 交 換 ！



名古屋地区の集会で挨拶する鎌田議長

意見交換会の当日は、J R 連 合 東 海 地 方 協 議 会 の 石 原 慎 太 郎 事 務 局 長 が 司 会 を 務 め、鎌 田 隆 司 議 長 が 主 催 者 挨拶を行った後、J R 連 合 副 会 長 で も ある 貨 物 鉄 産 労 の 辻 村 和 裕 中 央 委 員 長 と J R 連 合 の 相 良 夏 樹 組 織 局 長 が それぞれ意見交換を図る目的等について改めて説明の上、挨拶を行った。

意見交換は、今年も貨物鉄産労側から出された質問等に対し J R 東 海 ユ ニ オ ン 側 が 回 答 や 見 解 を 述 べ、それに対してさらに貨物鉄産労側が意見を述べるという形式で進められた。具体的には運転通告をはじめとする指令員と運転士・駅とのコミュニケーションのあり方、J R 東 海 と し て の 自 然 災 害 対 策、J R 東 海 の 運 転 設 備 等 に つ い て、広 範 な 質 疑 応 答 が な さ れ、相 互 理 解 に 繋 がる 意 見 交 換 と な っ た。

本会に参加した J R 貨 物 労 組 組 合 員 は、こうした取り組みの充実ぶりを見た上で、J R 連 合 ・ 貨 物 鉄 産 労 の 運 動 に 共 感 し、後 日 J R 総 連 ・ J R 貨 物 労 組 を 脱 退 し、貨 物 鉄 産 労 へ の 加 入 を 決 断 し た。まずはこの勇氣に敬意を表するとともに、歓迎したい。

これを一つの好事例として、J R 連 合 は 東 海 地 方 協 議 会 を は じ め、各 地 方 協 議 会 と も 連 携 の 上、改 め て J R 連 合 以 外 に 所 属 す る 組 合 員 ・ 労 組 未 加 入 者 に 対 し、J R 連 合 運 動 の 輪 を 広 げ る 取 り 組 み を 展 開 し、J R 連 合 へ の 総 結 集 を 図 っ て い く。